

学校教育目標 「かしこく(確かな知識) やさしく(思いやりの心) たくましく(健やかな)	学校経営の重点 「確かな学力の育成」「豊かな心の醸成」「教職員の仕事の効率化」
○目指す学校像 「行きたい学校(子供・教師)」「行かせたい学校(保護者)」「行ってみたい学校(地域のの方々)」 ○目指す児童・生徒像 「自分の考えをもち、深め、広げる子」「自分を大切に、友達にも優しくできる子」「張りのきく心と体をもつ子」 ○目指す教師像 「子供に深い愛情をもち、環境を大切に」「保護者・地域とともに子供を育てる」「切磋琢磨し、授業力・教師力を向上させる」	<重点目標の成果と課題>○素直で明るく、何事にも前向きに取り組もうとする児童が多い。◆基礎学力の定着に課題があり、読み・書き・計算、粘り強く学習に取り組む姿勢を育てる必要がある。配慮を要する児童が多く在籍しているため、通級指導学級、保護者、関連機関との連携が不可欠である。○教職員間の協力体制がよくとれており、新たな試みに取り組もうとする意識が高い。◆主任教諭が職責を自覚し、学年経営や学校運営のリーダー、若手教員への指導・助言をする役割を果たす必要がある。◆特別支援教室拠点校として、より質の高い教育指導の専門性の習得が求められる。

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標(教職員の自己評価)	平均	評価	成果指標	○	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	教育活動や日常の様子を積極的に発信し、教育活動への理解を深める。	学校公開や保護者委員他、学校行事を毎月設定し、創意工夫しながら積極的に教育活動を公開する。 学校ホームページや学校・保護者間連絡システムを活用し、積極的に情報発信をする。	4 90%以上の教職員が積極的に公開した。 3 80%以上の教職員が積極的に公開した。 2 70%以上の教職員が積極的に公開した。 1 積極的に公開した教職員は70%未満			A 学校評価アンケート「ア」(1)「教育活動を公開」肯定的評価 85%以上 B 学校評価アンケート「ア」(1)「教育活動を公開」肯定的評価 80%以上 C 学校評価アンケート「ア」(1)「教育活動を公開」肯定的評価 70%以上 D 学校評価アンケート「ア」(1)「教育活動を公開」肯定的評価 70%未満						
		コミュニティ・スクールの組織を活用して地域との連携を強化する。	学校運営協議会に本校の教育活動を周知し、学校の課題について協議する。 学校支援ボランティアや地域関係機関と連携した体験的な学習の充実を図る。	4 年間4回以上の会議を開催した。 3 年間3回以上の会議を開催した。 2 年間2回以上の会議を開催した。 1 会議の開催が2回未満			A 学校評価アンケート「ア」(4)「地域との一体化」肯定的評価 85%以上 B 学校評価アンケート「ア」(4)「地域との一体化」肯定的評価 80%以上 C 学校評価アンケート「ア」(4)「地域との一体化」肯定的評価 70%以上 D 学校評価アンケート「ア」(4)「地域との一体化」肯定的評価 70%未満						
		教員の働き方改革を推進する。	毎月マイ定時退勤日を定める。 毎月ノーマル会議デーを設定し、業務に集中して取り組めたり、年次有給休暇を取得したりしやすい環境をつくる。	4 マイ定時退勤日を設定した教員の割合が90%以上 3 マイ定時退勤日を設定した教員の割合が80%以上 2 マイ定時退勤日を設定した教員の割合が70%以上 1 マイ定時退勤日を設定した教員の割合が70%未満			A 設定した定時退勤日の達成割合が90%以上 B 設定した定時退勤日の達成割合が80%以上 C 設定した定時退勤日の達成割合が70%以上 D 設定した定時退勤日の達成割合が70%未満						
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が導く授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	基礎・基本の学習の徹底を図る。	日常の授業とともに、モジュールの時間を活用し、「漢字」「言語」の定着を図る。 日常の授業とともに、朝学習の時間を活用し、「計算」の定着を図る。	4 90%以上の学級で取り組んだ。 3 80%以上の学級で取り組んだ。 2 70%以上の学級で取り組んだ。 1 取り組んだ学級が70%未満			A 「漢字・言語」に関するテストの平均点が85点以上 B 「漢字・言語」に関するテストの平均点が80点以上 C 「漢字・言語」に関するテストの平均点が70点以上 D 「漢字・言語」に関するテストの平均点が70点未満						
		「できた」「わかった」と実感できる授業を展開する。	各教科の基礎的・基本的なことがらの定着を図る。 タブレット端末等のICT機器を効果的に活用した授業実践を行い、分かる授業の展開を図る。	4 90%以上の教職員が意識して指導した。 3 80%以上の教職員が意識して指導した。 2 70%以上の教職員が意識して指導した。 1 意識して指導した教職員が70%未満			A 学校評価アンケート「イ」(1)「基礎基本習得」肯定的評価 85%以上 B 学校評価アンケート「イ」(1)「基礎基本習得」肯定的評価 80%以上 C 学校評価アンケート「イ」(1)「基礎基本習得」肯定的評価 70%以上 D 学校評価アンケート「イ」(1)「基礎基本習得」肯定的評価 70%未満						
		主体的に問題を発見し、協働しながら自立的に学び続ける力の育成を図る。	児童の疑問や気付きを生かした問題発見場面や問題解決場面を設定した授業の展開を図る。	4 90%以上の教職員が意識して指導した。 3 80%以上の教職員が意識して指導した。 2 70%以上の教職員が意識して指導した。 1 意識して指導した教職員が70%未満			A 児童アンケート「タブレットやTVを使った授業はわかりやすい」85%以上 B 児童アンケート「タブレットやTVを使った授業はわかりやすい」80%以上 C 児童アンケート「タブレットやTVを使った授業はわかりやすい」70%以上 D 児童アンケート「タブレットやTVを使った授業はわかりやすい」70%未満						
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切に意識・意欲・態度を育てる。	道徳教育や望ましい集団活動をおとして、自己有用感や他者意識高め、豊かな心を育てる。	「特別の教科道徳」「特別活動」を中心に、自己のよさを認め、他者のよさに気付き、他者に対する思いやりの心をもたせる。 全校朝会・学年集会・学級指導などをとおして、規範意識を高める。	4 90%以上の教職員が意識して指導した。 3 80%以上の教職員が意識して指導した。 2 70%以上の教職員が意識して指導した。 1 意識して指導した教職員が70%未満			A 児童アンケート「人の役に立つことができている。」185%以上 B 児童アンケート「人の役に立つことができている。」180%以上 C 児童アンケート「人の役に立つことができている。」170%以上 D 児童アンケート「人の役に立つことができている。」170%未満						
		自分も友達も大切にできる態度を養う	「心のアンケート」をもとに、いじめの未然防止・早期発見・早期解決を図る。 学校・家庭SNSルールを活用しネットマナーを身に付けさせる。	4 90%以上の教職員が指導を徹底した。 3 80%以上の教職員が指導を徹底した。 2 70%以上の教職員が指導を徹底した。 1 指導を徹底した教職員が70%未満			A 学校評価アンケート「ウ」(1)「いじめ防止」肯定的評価 85%以上 B 学校評価アンケート「ウ」(1)「いじめ防止」肯定的評価 80%以上 C 学校評価アンケート「ウ」(1)「いじめ防止」肯定的評価 70%以上 D 学校評価アンケート「ウ」(1)「いじめ防止」肯定的評価 70%未満						
		運動の日常化と健康教育及び食育の向上を図る。	運動を「する」「見る」「交える」「知る」の視点で指導し、体を動かすことへの関心・意欲の向上を図る。 保健指導や給食指導をおとして、健康教育と食育を推進する。	4 90%以上の教職員が意識して指導した。 3 80%以上の教職員が意識して指導した。 2 70%以上の教職員が意識して指導した。 1 意識して指導した教職員が70%未満			A 学校評価アンケート「エ」(1)「運動に積極的」肯定的評価 85%以上 B 学校評価アンケート「エ」(1)「運動に積極的」肯定的評価 80%以上 C 学校評価アンケート「エ」(1)「運動に積極的」肯定的評価 70%以上 D 学校評価アンケート「エ」(1)「運動に積極的」肯定的評価 70%未満						
健やかな体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する。	安全な環境を整備し、自己・他者の命や心身を守る力を育成するための全校体制を徹底する	避難訓練や安全指導日に、登下校時の交通安全や不審者に対する安全意識を身に付ける。 安全で清潔な環境を整えるため、教室や廊下など校内の整備や美化に努める。	4 90%以上の教職員が指導を徹底した。 3 80%以上の教職員が指導を徹底した。 2 70%以上の教職員が指導を徹底した。 1 指導を徹底した教職員が70%未満			A 学校評価アンケート「ウ」(4)「事故対応」肯定的評価 85%以上 B 学校評価アンケート「ウ」(4)「事故対応」肯定的評価 80%以上 C 学校評価アンケート「ウ」(4)「事故対応」肯定的評価 70%以上 D 学校評価アンケート「ウ」(4)「事故対応」肯定的評価 70%未満						
		運動の日常化と健康教育及び食育の向上を図る。	運動を「する」「見る」「交える」「知る」の視点で指導し、体を動かすことへの関心・意欲の向上を図る。 保健指導や給食指導をおとして、健康教育と食育を推進する。	4 90%以上の教職員が意識して指導した。 3 80%以上の教職員が意識して指導した。 2 70%以上の教職員が意識して指導した。 1 意識して指導した教職員が70%未満			A 学校評価アンケート「エ」(2)「食習慣・生活習慣」肯定的評価 85%以上 B 学校評価アンケート「エ」(2)「食習慣・生活習慣」肯定的評価 80%以上 C 学校評価アンケート「エ」(2)「食習慣・生活習慣」肯定的評価 70%以上 D 学校評価アンケート「エ」(2)「食習慣・生活習慣」肯定的評価 70%未満						
		安全な環境を整備し、自己・他者の命や心身を守る力を育成するための全校体制を徹底する	避難訓練や安全指導日に、登下校時の交通安全や不審者に対する安全意識を身に付ける。 安全で清潔な環境を整えるため、教室や廊下など校内の整備や美化に努める。	4 90%以上の教職員が指導を徹底した。 3 80%以上の教職員が指導を徹底した。 2 70%以上の教職員が指導を徹底した。 1 意識して指導した教職員が70%未満			A 学校評価アンケート「カ」(1)「校内美化」肯定的評価 85%以上 B 学校評価アンケート「カ」(1)「校内美化」肯定的評価 80%以上 C 学校評価アンケート「カ」(1)「校内美化」肯定的評価 70%以上 D 学校評価アンケート「カ」(1)「校内美化」肯定的評価 70%未満						

教職員の自己評価(4~3の割合を結果数値とする)

4 取り組んだ
3 どちらかというと取り組んだ
2 どちらかというと取り組まなかった
1 取り組まなかった

取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)

取組指標平均 3.6以上(90%以上) ⇒ 評価A
取組指標平均 3.2以上3.6未満(80%以上) ⇒ 評価B
取組指標平均 2.8以上3.2未満(70%以上) ⇒ 評価C
取組指標平均 2.8未満(70%未満) ⇒ 評価D

成果指標評価基準

成果指標肯定的評価の割合(%) 85%以上⇒評価A
成果指標肯定的評価の割合(%) 80%以上⇒評価B
成果指標肯定的評価の割合(%) 70%以上⇒評価C
成果指標肯定的評価の割合(%) 70%未満⇒評価D

学校関係者評価の評価基準について

4 評価できる ⇒ 平均3.5以上 ⇒ 「A」取組・成果ともに十分評価できる
3 おおむね評価できる ⇒ 平均3以上3.5未満 ⇒ 「B」取組・成果ともに評価できるが改善がある。
2 あまり評価できない ⇒ 平均2以上3未満 ⇒ 「C」目標達成には至らないため改善が必要である。
1 評価できない ⇒ 平均2未満 ⇒ 「D」重要な課題があるため、重点的に改善する必要がある。